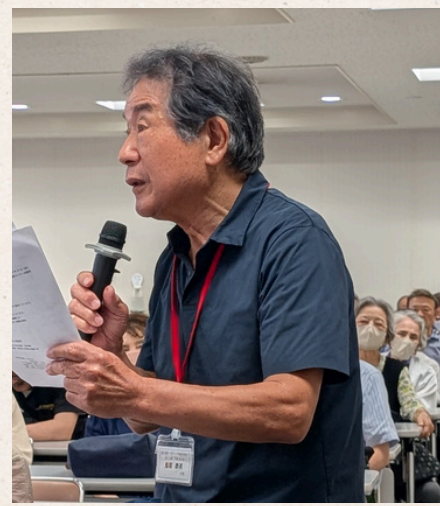


熊本さわか大学校大学院第18期第18期講座

熊本県総合福祉センター 2026/09/11

農に生きる

講師：東海大学副学長 木之内 均 氏



その講義は、衝撃的な自伝から始まった。小学5年生で自費で畑を借りて耕し、更に販売まで行った。それは高校を卒業するまで継続されたという。大学に入るが、目的意識の高さゆえ、海外へ目を向け、ブラジルでは馬に乗り銃を携え、農地を開拓していった。帰国後、家族を持つが、30代で癌になり、あごの骨を失う。病床で挫折するどころか自分がいなくても経営できるようにと、「農業法人」を設立し、仲間と経済的基盤づくりを行った。その後、大規模農場の経営に乗り出し、一時は11億円の負債を負うが、次々に経営を安定させ、人を育ててきた。海外への農業支援も数知れず、その土地に適した持続可能な農業を伝えてこられた。現代の日本農業の課題もお話いただき、「生命総合産業」という新しい産業分野を指針として示された。若い農業の担い手に向けてはご自身の半生を振り返りながら「人生とは、不可能を可能にする創造事業」という言葉を送られた。

「さわか大学院は空席も目立たず、講義を聞こうとする姿勢にとても好感が持てる。」と先生がおっしゃってくださいました。嬉しい限りです。波乱に満ちたご経験を飾らない言葉で語って下さった先生に心より感謝申し上げます。